

静岡市立長田東小学校



体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月5日(木)

静岡市立長田東小学校 の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
さまざまな古代体験を行いました。

土器の分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

時代によって、見た目や作り方が違うことが分かって良かったです。それぞれの特徴を基に、分類をするのが楽しかったです。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

黒曜石でできた石器は触ってみると、とてもつるつるで、きれいでした。石器の向きによっては、野菜が簡単に切れて驚きました。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

木と木を擦り合わせて火を起こす大変さと、今の時代の便利さを感じました。仲間と協力して火が起こった時は嬉しかったです。



センターの仕事と 展示室見学



埋蔵文化財センターの仕事についての話を聞き、展示室の見学をしました。

<児童の感想>

公共事業などで失われてしまう遺跡を発掘・調査をして、後世に残す大切さと大変さが分かりました。歴史は意外と身近な存在だと分かりました。



<先生方の感想>

子ども達に貴重な体験をさせられて、とても良かったです。歴史学習のスタートの部分なので、大変さを感じたり、身近に感じたりさせられたことで、子どもがこれからの学習に意欲をもたせてくださりありがたいです。

